

青北進路通信 第10号

3年生 122名が共通テストに挑戦

年明けの1月16日・17日に大学入学共通テストが行われます。昨年度まで「センター試験」と呼ばれていた試験で、今年度の総志願者数は535,245人となりました。1月18日(月)の自己採点をもとに、国公立大学は、前・中・後期試験の出願を1月25日(月)から一斉に行います。私立大学は、共通テストの利用有無を含めて、さまざまな受験パターンがあります。各自で出願書類を取り寄せ、保護者や担任の先生と十分に話し合った上で出願先を決めてください。新型コロナウイルスの感染拡大によって、出願日程や試験内容が大幅に変更になっている大学もあります。例えば、横浜国立大学は7月の段階で個別試験の取りやめを決め、原則として共通テストの成績で合否を判定します。一部の学部ではレポートを提出させますが、大学独自の筆記試験の実施は見送っています。各自でしっかり把握し、準備しておきましょう。

【2021年度入試国公立大学 一般入試スケジュール】

大学入学共通テスト第1日程(1/16・17)

【大学入学共通テスト第1日程追試験(1/30・31)】



2次(個別)試験出願(1/25～2/5)



前期日程試験(2/25～)

合格発表(～3/10)・手続き(～3/15)



中期日程試験(3/8～)・後期日程試験(3/12～)

合格発表(3/20～3/23)・入学手続き(～3/26)

※詳細は各大学の選抜要項を確認してください

看護医療系進学講演会を実施しました

12月15日(火)に、1・2年生の看護医療系志望者を対象に講演会を実施しました。株式会社アゼストの植松弘幸氏を講師に招き、看護医療系の仕事内容、大学と専門学校の違い、志望理由のまとめ方や小論文の対策など、進路対策に直結する内容について講演していただきました。生徒向けの講演会の後には、希望する保護者を対象に講演会を行いました。植松氏によると、新型コロナウイルス感染拡大によって、感染が拡大している都道府県の学校の志願倍率が減少傾向にあるそうです。進路に関する情報を的確に把握し、志望先のホームページは細かくチェックするようにしましょう。



生徒対象の講演会の様子



保護者対象の講演会の様子

～冬季休業中の行事予定～

冬季休業は計19日です。計画的に学習しよう。

月日	曜	1・2年生	3年生
12月24日	木	冬期講習① 19	冬期講習① (買い取り模試・青バック) 23
12月25日	金	冬期講習② 18	冬期講習② (買い取り模試・青バック) 22
12月26日	土		土曜講習⑦ 21
12月27日	日		
12月28日	月		冬期講習③ 19
12月29日	火		
12月30日	水		
12月31日	木		
1月1日	金		
1月2日	土		
1月3日	日		
1月4日	月		冬期講習④ 12
1月5日	火		冬期講習⑤ 11
1月6日	水	冬期講習③ 6	冬期講習⑥ 10
1月7日	木	冬期講習④ 5	冬期講習⑦ 9
1月8日	金	冬期講習⑤ 4	冬期講習⑧ 8
1月9日	土		土曜講習⑧ 7
1月10日	日		
1月11日	月		
1月12日	火	始業式・確認テスト②	始業式 4
1月13日	水	確認テスト②	
1月14日	木		
1月15日	金		共通テスト激励会 1
1月16日	土		共通テスト
1月17日	日		共通テスト
1月18日	月		共通テスト自己採点
1月19日	火		
1月20日	水		
1月21日	木		
1月22日	金	英語検定1次	進路検討会
1月23日	土	ベネッセ記述模試	
1月24日	日	ベネッセ記述模試 (2年のみ)	
1月25日	月		国公立大学出願開始

※1・2学年で計画していた学習合宿(1/6～1/8)は、11月にお知らせしたとおり、新型コロナウイルスの影響により中止とさせていただきます。
※1/8日(金)は1・2学年のスポーツ科学科も出校となります。

冬期講習 校時表

※土曜講習は時間が異なります

1校時	9:00	～	9:50
2校時	10:00	～	10:50
3校時	11:00	～	11:50
(以下3年生のみ)			
4校時	12:00	～	12:50
5校時	13:50	～	14:40
6校時	14:50	～	15:40

1・2年生に考えてほしい「今」

高校1年生と2年生にとって、冬季休業から3学期にかけての期間は最重要期間だ。

1年生で「今」努力していない人は、2年生になってから頑張るんですか？
3年生になってから本気を出すんですか？

2年生には、11月19日の進路ガイダンスで話した通りだ。
3年生になれば誰もが頑張る。特に、部活動に本気で励んだ人の引退後の努力はすさまじい。
それは、部活動で「目標に向かって努力する」姿勢が身に付いたからだと思う。

つまり「今」が一番「差」が大きくなる時期なのだ。だから「今」の努力が高校生活で重要なのである。

第一志望とする進路に合格すればその努力は全て報われる。合格した3年生なら、よくわかるはずである。

本校の3階職員室向かいにパソコンがある。青森北高校の3年生の大半は、そこで受験した学校の合格発表を見る。授業の合間の休み時間に、合格発表を見るために3年生が集まってくる。合格発表の画面で自分の受験番号を見つけて喜ぶ生徒。その喜びを分かち合うクラスメイト。逆に、自分の受験番号がパソコンの画面になく、がっくりと落ち込み涙する生徒。それを慰めるクラスメイト。

いずれにせよ、そこにあるのは現実だ。ゲームとは違う、やり直しのきかない現実。
1・2年生は受験で不合格の経験がないから、その現実の厳しさを知ることはできない。
しかし、リアルに想像することはできる。
そして、そのリアルに想像した現実に真摯に向き合うことが、受験で打ち勝つための必要条件である。

不合格を恐怖に感じることは恥ずかしいことではない。
本当に強い人間は、常に「恐怖」と隣り合わせで生きている。
恐怖と向き合い、今の自分に何ができるのかを真剣に考えることが大切だ。

部活動の公式大会で、次のような恐怖を感じた瞬間があるだろうか。
(ラグビー部)「この拮抗した場面で、キックミスしたらどうしよう」
(バレー部)「このスパイクを思いっきり打って外したらどうしよう」
(陸上部)「スタートに失敗して出遅れたらどうしよう」
(柔道部・空手道部・剣道部)「自分から先に仕掛けて、返し技でやられたらどうしよう」
(吹奏楽部)「独奏パートで失敗したらどうしよう」
(サッカー部)「自分のミスで失点したらどうしよう」
(バスケット部)「大切な場面でシュートを外したらどうしよう」
(野球部)「この重要な場面でヒットを打たれたらどうしよう」
(バドミントン部・卓球部・テニス部)「相手のマッチポイントでサーブを外したらどうしよう」

この恐怖を感じる人には、ある共通項がある。
それは「努力している」ということである。
だから「どうしよう」と恐怖を感じることはごく自然なことなのだ。
逆に言えば、努力していない人間は、失敗(不合格)に恐怖を感じることはない。

野球部に所属していない高校生が甲子園予選のマウンドに立って、ヒットを打たれることに恐怖を感じるだろうか。
そんなことはありえない。
なぜなら、打たれて当然だからである。練習してないから。

本気で努力しなかった人間が、高校生活最後の公式大会で負けたり、受験で落ちたりして泣く場合がある。
その「涙」は一体、何の涙なのか。
青森北高校に入学したのだから、学業にも部活動にも本気で取り組んで、最後は本当の涙を流してほしい。

しかし、青森北高校には本気で努力していない人がまだいる。
登校後に教室でゲームをする人。
課題を期限までに提出しない人。
授業に集中できない人。

今、気付かなければ絶対に負ける。
だから、あなたに「今」の大切さを伝えるために、あえて厳しいメッセージを送っているのである。

昨日までの自分を大きく超える、「これ以上はできない」という冬季休業にしよう。
学業も、部活動も。